

樹木観察のポイント・樹木の成長

7 立木の観察

Point

- ・幹の太さをみてる
- ・押してみる
- ・揺すってみる



立木の観察では、幹の太さを観察します。樹木の幹には、片手でつかめるものから、両手を伸ばしても抱えられないものまで様々な太さがあります。幹を手で押してみると、幹の強さや柔軟性を観察することができます。一人では抱えられない立木は、数人で力いっぱい押してもびくともしない強さを備えています。一方、片手でつかめる立木は、軽く押しても揺れる柔軟性を備えています。幹をゆっくりと揺することで、立木の上部が揺れる様子を感じ取ることもできます。

幹を揺することで上部の枯れ枝などが落下することがありますので、必ず事前に点検します。

参考：大石康彦・井上真理子(2024)森林観察における学び—盲学校小学部1年生の夏休み観察会から—、日本視覚障害理科教育研究会会報 43:1-9.